

言葉に出会う

ようこそ詩の世界へ

言葉を読んでいますか？

紡いでいますか？

おしゃべりするだけでなく、詩を作ることで、

日本語の美しい響きや言葉の持つ力に

改めて出会えるかもしれません。

「詩の世界」へ、一緒に出かけましょう。



PRESENT

応募方法は
9ページ

1 谷川俊太郎詩集 「こころ」

朝日新聞出版

20人

心はどこにいるのだろう——跳ねたり、迷子になったり、コロコロとちっともじっとしていない。谷川俊太郎が千変万化する「こころ」をとりえようと試みた詩集。朝日新聞で5年にわたる連載から生まれた珠玉の60篇を収録。



サイン入り

2 詩と音楽のCD 「あるでんで」

であるであるで・
谷川俊太郎・谷川賢作

20人

谷川俊太郎とのユニットのために結成された木管四重奏団「であるであるで」。ピアニスト・谷川賢作、谷川俊太郎のコラボレーションCD。



3 まど・みちお全詩集

伊藤英治・編
理論社

10人

まど・みちおの全詩作品を発表順に収録。少年詩、童謡、散文詩など、まど・みちおの詩の世界がまるごと楽しめる。新訂版。800ページ。



4 版画のはらうた I~Vセット

工藤直子・詩
はてはまたかし・画
重信屋

10人

動物や昆虫、花や風、雲までがのびのびと「自分の世界」を語る愉快で美しい詩集。5冊セットで。



★プレゼントの詳しい応募方法は、9ページをご参照ください。

谷川俊太郎さんに聞く

詩作の魅力

日本を代表する詩人の一人、

谷川俊太郎さんに、

詩の魅力、詩を作るときのアドバイスを
寄稿していただきました。

詩作のアドバイス

詩を作ってみたい——
という人のために、
谷川俊太郎さんに、
アドバイスしていただきました。

ユーモアを秘めた言葉が

気持ちをとおらかにしてくれます

感情とは違う心の動きを表す

涙にも二種類あると思うのです。たとえば長年一緒に暮らしてきたベツトが死んでしまった時の涙、悲しみの涙。それに対して、大好きな歌手が大好きな歌を歌うのを聞いて、思わず涙ぐんでしまった時の涙。これは感動の涙で、悲しみの涙とは違う。涙に限りませんが、毎日の暮らしの中で、私たちが経験している喜怒哀楽の感情とは違う心の動きがあります。路傍に咲く野花を見て、美しいなと感じた時、あるいは幼い子どもが笑うのを見て、思わず微笑んでしまう時、私たちは感情とはいささか次元の異なる「感動」に浸っているのです。

いちばんぼしが でた

うちゅうの

目のようだ

ああ

うちゅうが

ぼくを みている

(まど・みちお詩集)

「とおいとこ」から「いちばんぼし」

まど・みちおさんの詩です。あくせくしている毎日の暮らしからつかの間離れて、気持ちがとおらかになりますか。

自分の外にある言葉を
組み合わせる

○アクロスティック

何か話す時、何か書く時、言葉は自分の中から出てくるような感じがします。でも言葉は自分の外にもあります。言葉は自分だけのものではなく、だれか他の人が言った言葉、書いた言葉とつながっています。詩を書く時とする時、自分の中から湧いてくる言葉だけにこだわらずに、自分の外にある言葉を組み合わせることを考えてみてはどうでしょう。たとえば「アクロスティック」という技法があります。各行の行頭の言葉を横に読むとそこに本文にはない言葉が隠れています。

すつとんきようで

きがきかない

でくのぼうの

すかんびん

詩を味わう

のはらうた

くどうなおことのはらみんな

はるなつあきふゆ こりすすみえ

はるがくるのは よくわかる

まつげの ねっこが

しゅんしゅん うるむ

なつがくるのは よくわかる

ちいさい てのひら

みどりに そまる

あきがくるのは よくわかる

まえば こつんと

くるみを かじる

ふゆがくるのは よくわかる

ふかふか しっぱが

まくらに なった



童話集

詩を読んでみるといつても何から手に取ってよいのやら……。そんな詩の初心者のために、書店で人気の詩集を紀伊國屋書店新宿本店の梅崎実奈さんに紹介してもらいました。

生き生きと

幸福感あふれる描写

工藤直子さんが、野原にすんでいる動物や虫、植物、そして野原に吹く風など、あらゆるものになりきって詩を読む、シリーズの巻の人氣詩集。

美しい自然や四季の移ろいが「こりすすみえ」「かふとてつお」「かぜみつる」「もぐらたけし」など約50の「人でない作者」の視点から描かれています。その温かい語り口調と生き生きとした自然の描写に、読むそばから幸福感に満たされます。

工藤直子

くどうなおこと●詩人・童話作家、1983年、詩集「つぐくくくく」ライオン（理論社）で第16回日本児童文学者協会新人賞受賞。

中原中也詩集

吉田熙生編

骨

ホラホラ、これが僕の骨だ、生きてゐた時の苦勞にみちたあのけがらはしい肉を破つて、しらじらと雨に洗はれ、ヌツクと出た、骨の尖。

それは光沢もない、ただいたづらにしらじらと、雨を吸収する、風に吹かれる、幾分空を反映する。

（後半略）



新潮文庫

苦も悲しみも

ユーモラスに表現

悲しいことがたくさん書いてあるのに、リズムミカルでテンションが高く、表現に様々な表情や身ぶりがあります。

読み手によってとらえ方も変わってくると思いますが、暗く心悲しいことでも、自分自身を道化にして、苦々しい自嘲もおどけることによって、ユーモラスに表現しているのが「中也ワールド」の魅力です。

中原中也

なかはら・ちゅうや●1907年1月37年、山口県生まれ。詩集を得ることを怠りまもなく、30歳で早世した。その作品は年々ともに評価を高め、今や近代文学を代表する数詩人として地位を占めている。

詩を作ってみる

詩は「読む」だけでなく「書く」という楽しさ。小学校の授業で「ウソの詩を書く」を実践し、子どもたちに表現の面白さを教える小学校教諭・岩瀬直樹さんに詩の書き方を教えてもらいました。

「ウソの詩」を書くこう！

「ウソの詩」に「本当」が隠れていることも

岩瀬直樹さんが初めて「ウソの詩を書く」を授業で実践したのは、20年前。多くの子どもたちは「ウソ書いていいの？」と目を輝かせて書き始めましたが、中にはなかなか筆が進まない子もいます。そんな子どもには、風や動物になりきった下藤直子さんの詩「のはらうた」を例に出し、「これもウソの詩なんだよ」と声をかけると、黙々と書き始めたそうです。進めていくと、「ウソの詩」の中に現在その子がおかれている「本当の」気持ちが見えてくることも。「この感覚は大人でも同じです。ただ、大人は子どもの

ように心で感じたことを素直に表現するのが苦手。自分への期待値を下げ、とにかく書いてみることから始めてください」と岩瀬さん。また、作った詩を「聞いてもらう」ことも大切だそうです。「人に聞

いてもらい、認められることが作品を作る喜びになります。聞く人は良い点を探して伝えることを心がけて」では、実際に「ウソの詩」を作ってみましょう。思う存分自分の内なるものを表現したら、なんともいえない、すがすがしい気持ち味が味わえますよ。

もしも おふろに

さかながいたら

小学校3年生

もしも おふろに さかながいたら

ぼくは さかなに えさをやる

そして いっしょに およいだら

どやどや はねて あそぶのさ

(後半略)

1 作家ノートを用意しよう

思いついたことをどんどん書きためるノートを1冊用意。

2 小さなウソを考えよう

「懐かしい」+「ポケット」。「ありえない」+「消しゴム」など、二つの関係ない事象を自由に組み合わせよう。

3 短い文にしてみよう

短い文をたくさん書いてみる。行を変えて、間違えても消さずにどんどん書いていく。

懐かしいポケットを 出したら
そのポケットに 手を入れてみた
空色の ビー玉だ 2つ でてきた
(思いつくままにウソを続けていきましょう)

4 技で磨いてみよう

①繰り返し②対句③体言止め④倒置法⑤韻を踏む、などを意識して文章を推敲し、詩を完成させる。

懐かしいポケットをなくした夜。

5 人に感想を言ってもらおう

発表するときは恥ずかしがらずに自信を持って。聞く人は、批評するのではなく良い点を挙げるようにしよう。

岩瀬 直樹

いわせ・なおき ●埼玉県の小学校教諭、学びの寺子屋「美学」主宰、NPO法人EFC(Educational Future Center)理事